

## 技術ノート KGTN 2013071201

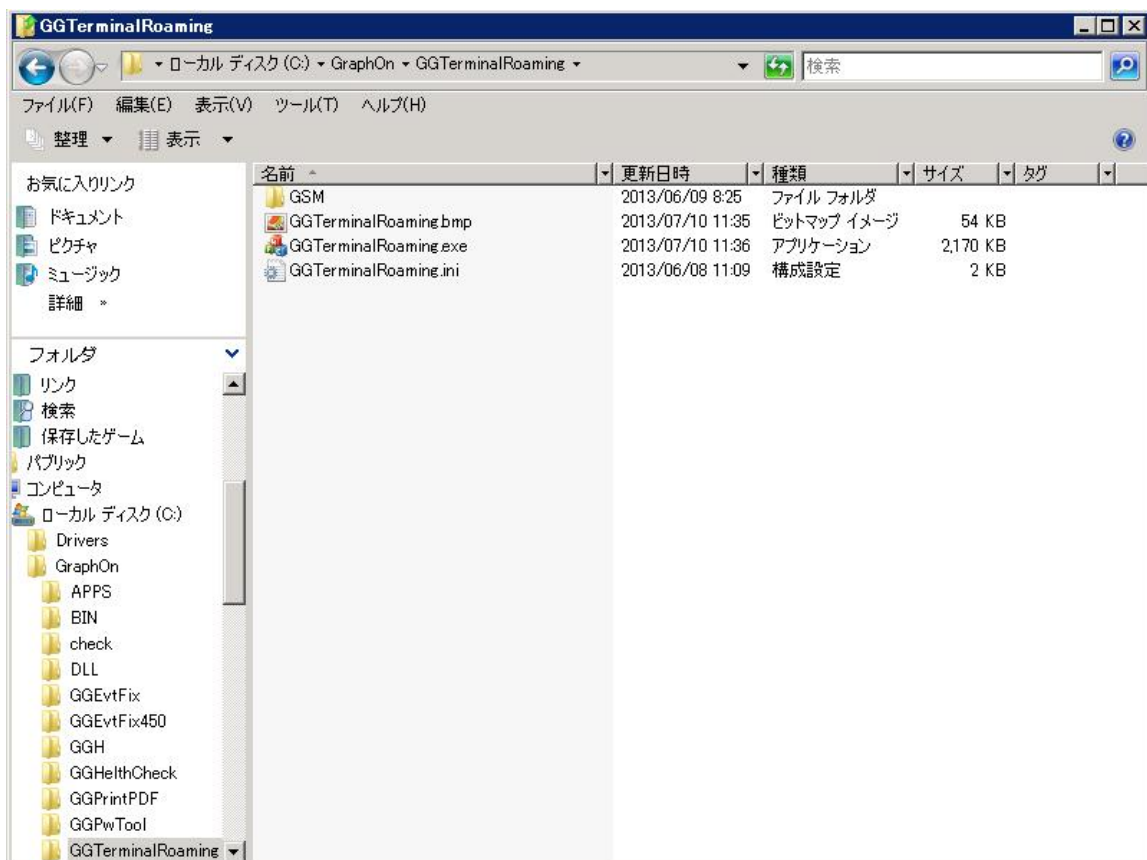
### 現象

[ExPack] GGTerminalRoaming のサンプル版のインストール方法は？

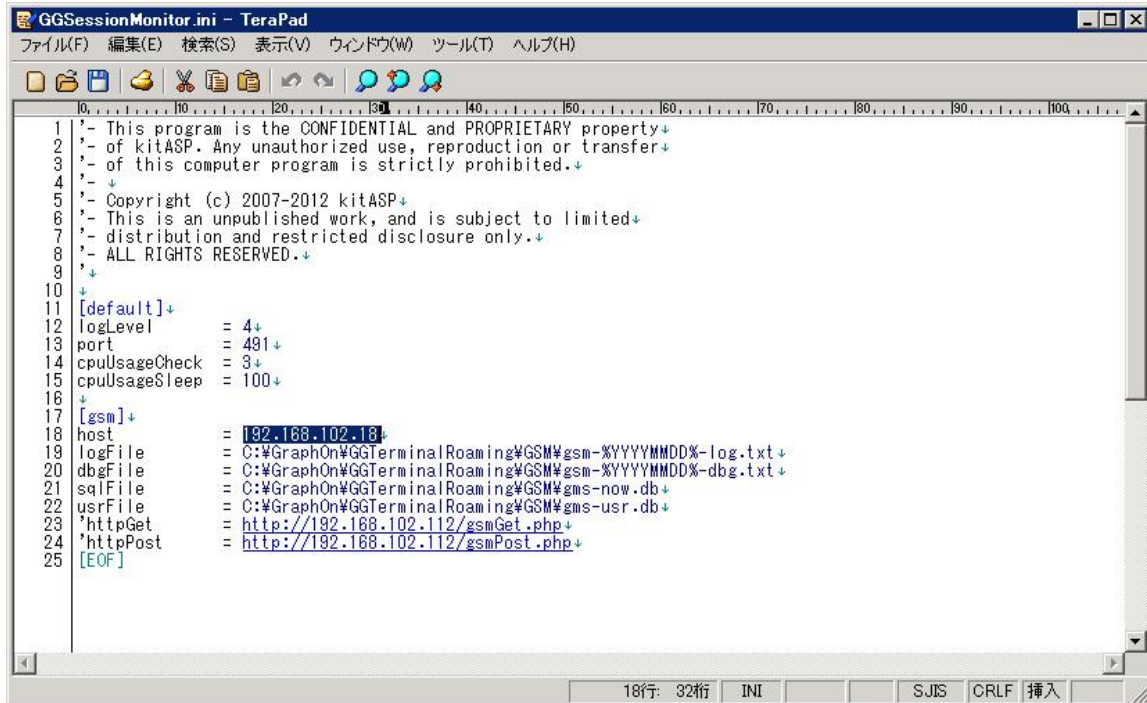
### 説明

以下の手順でインストールして下さい。

- 1) GG サーバにフォルダ **C:\¥GraphOn** を作成し、そこに配布フォルダ **GGTerminalRoaming** をコピーして下さい。



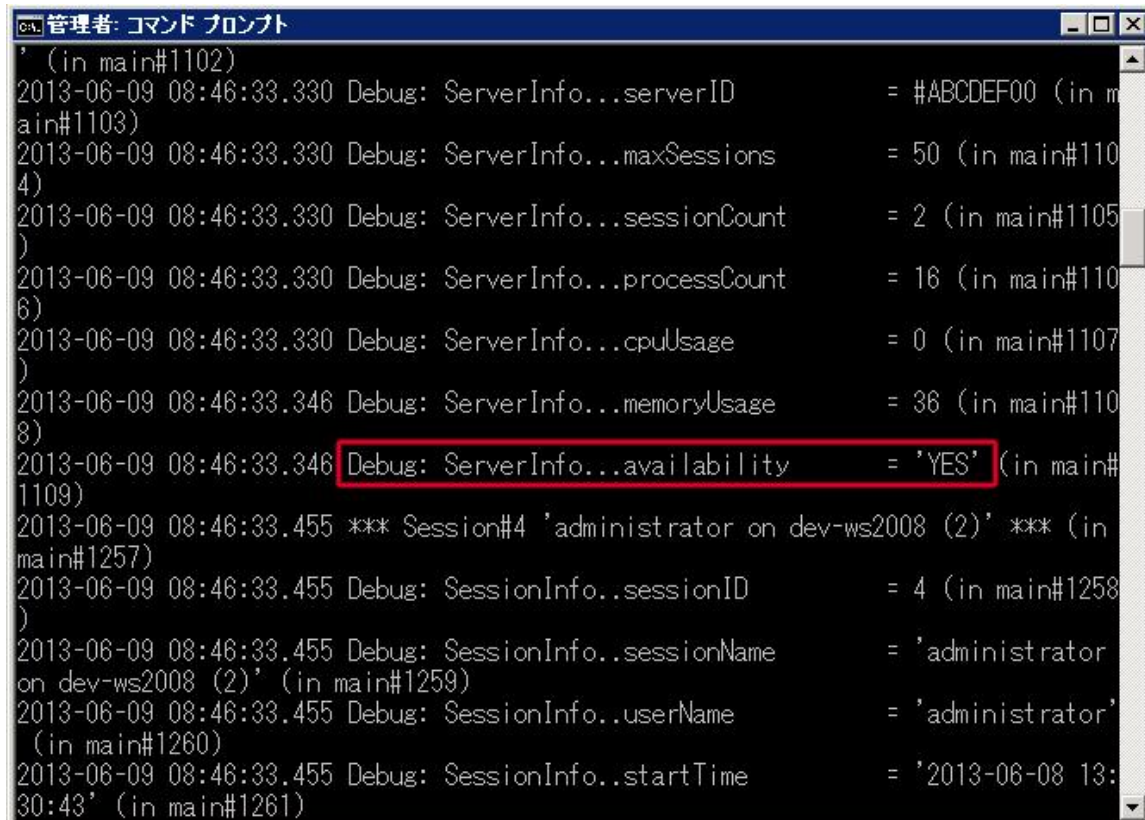
- 2) フォルダ C:\GrapOn\GGTerminalRoaming\GSM にあるファイル GGSessionMonitor.ini をテキストエディタやメモ帳で開き、キー host の値に GG サーバの IP アドレスを記入し、ファイルを上書き保存して下さい。



```
GGSessionMonitor.ini - TeraPad
ファイル(F) 編集(E) 検索(S) 表示(V) ウィンドウ(W) ツール(T) ヘルプ(H)
[default]
logLevel = 4
port = 491
cpuUsageCheck = 3
cpuUsageSleep = 100
[gsm]
host = 192.168.102.18
logFile = C:\GrapOn\GGTerminalRoaming\GSM\gsm-%YYYYMMDD%-log.txt
dbgFile = C:\GrapOn\GGTerminalRoaming\GSM\gsm-%YYYYMMDD%-dbg.txt
sqlFile = C:\GrapOn\GGTerminalRoaming\GSM\gms-now.db
usrFile = C:\GrapOn\GGTerminalRoaming\GSM\gms-usr.db
httpGet = http://192.168.102.112/gsmGet.php
httpPost = http://192.168.102.112/gsmPost.php
[EOF]
```

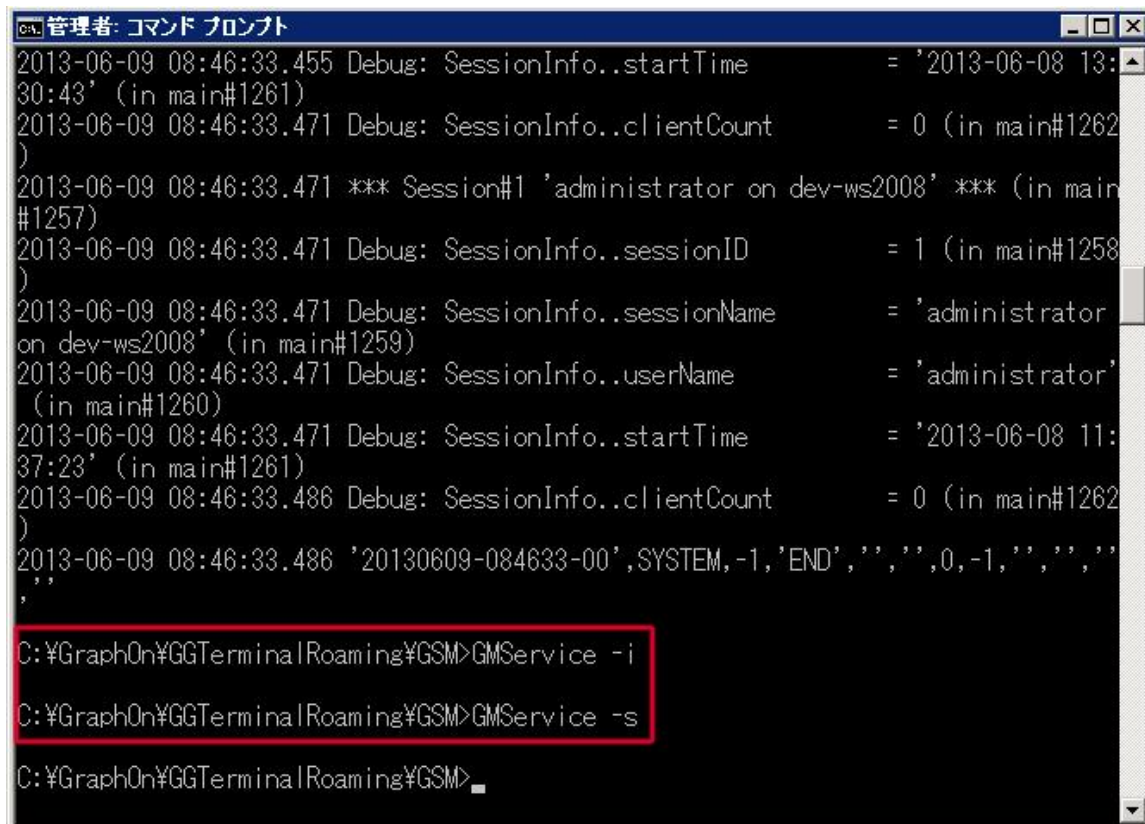
18行: 32桁 INI SJS CRLF 挿入

- 3) コマンドプロンプトを開き, DOS 窓で `GGSessionMonitor -sec gsm` を実行して下さい. 次に, 画面に `Debug: ... availability = 'YES'` という行が表示されたことを確認して下さい. もし表示されない場合は, IP アドレスに誤りがあるか, または指定した GG サーバ上で `APS` が開始していない可能性が高いと考えられます.



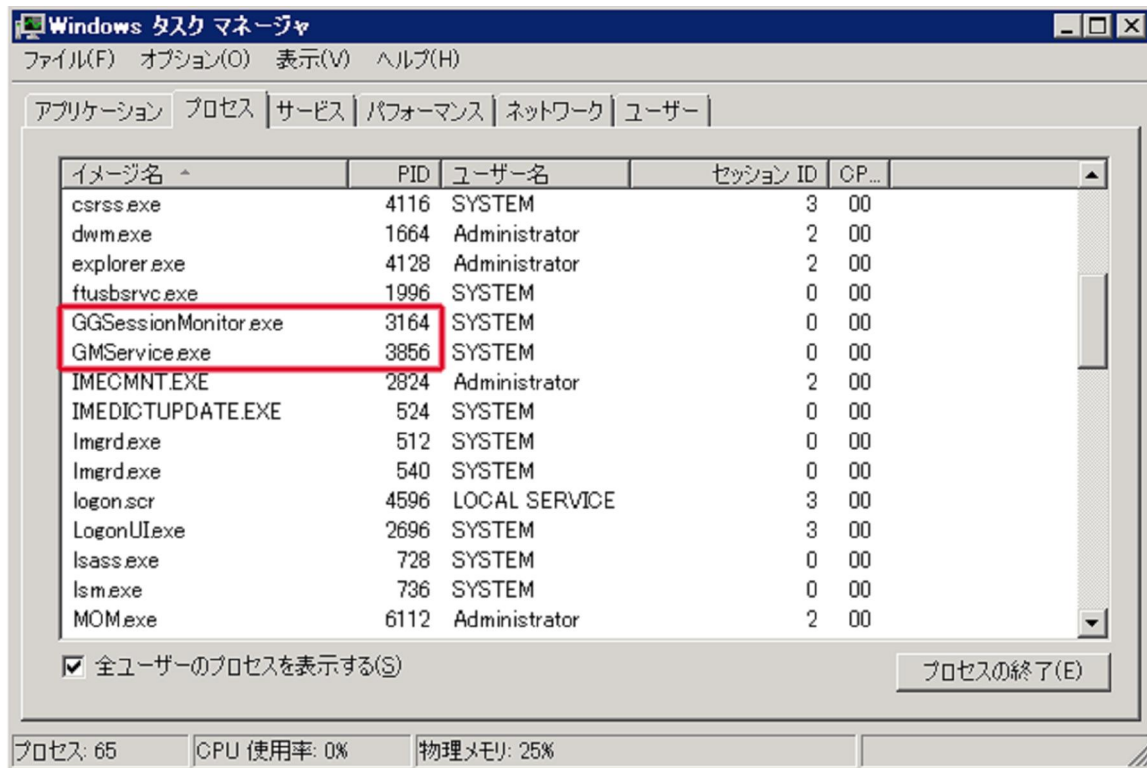
```
管理者: コマンド プロンプト
' (in main#1102)
2013-06-09 08:46:33.330 Debug: ServerInfo...serverID = #ABCDEF00 (in m
ain#1103)
2013-06-09 08:46:33.330 Debug: ServerInfo...maxSessions = 50 (in main#110
4)
2013-06-09 08:46:33.330 Debug: ServerInfo...sessionCount = 2 (in main#1105
)
2013-06-09 08:46:33.330 Debug: ServerInfo...processCount = 16 (in main#110
6)
2013-06-09 08:46:33.330 Debug: ServerInfo...cpuUsage = 0 (in main#1107
)
2013-06-09 08:46:33.346 Debug: ServerInfo...memoryUsage = 36 (in main#110
8)
2013-06-09 08:46:33.346 Debug: ServerInfo...availability = 'YES' (in main#
1109)
2013-06-09 08:46:33.455 *** Session#4 'administrator on dev-ws2008 (2)' *** (in
main#1257)
2013-06-09 08:46:33.455 Debug: SessionInfo...sessionID = 4 (in main#1258
)
2013-06-09 08:46:33.455 Debug: SessionInfo...sessionName = 'administrator
on dev-ws2008 (2)' (in main#1259)
2013-06-09 08:46:33.455 Debug: SessionInfo...userName = 'administrator'
(in main#1260)
2013-06-09 08:46:33.455 Debug: SessionInfo...startTime = '2013-06-08 13:
30:43' (in main#1261)
```

- 4) DOS 窓で **GMSERVICE -i** を実行し、続けて **GMSERVICE -s** を実行して下さい。この操作で、GG サーバを監視するサービスが登録され、さらにそのサービスが開始します。

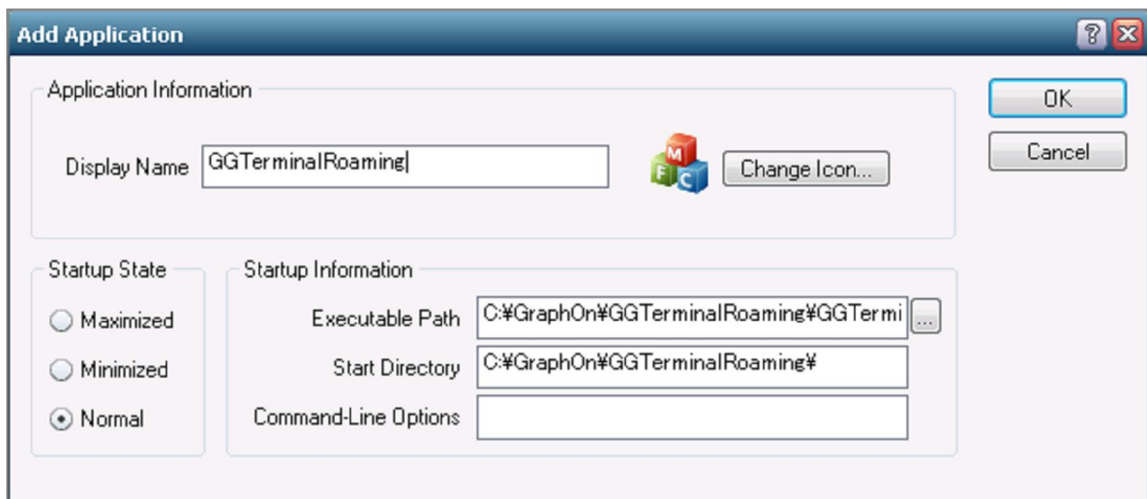


```
管理 管理者: コマンド プロンプト
2013-06-09 08:46:33.455 Debug: SessionInfo..startTime      = '2013-06-08 13:
30:43' (in main#1261)
2013-06-09 08:46:33.471 Debug: SessionInfo..clientCount   = 0 (in main#1262
)
2013-06-09 08:46:33.471 *** Session#1 'administrator on dev-ws2008' *** (in main
#1257)
2013-06-09 08:46:33.471 Debug: SessionInfo..sessionID     = 1 (in main#1258
)
2013-06-09 08:46:33.471 Debug: SessionInfo..sessionName   = 'administrator
on dev-ws2008' (in main#1259)
2013-06-09 08:46:33.471 Debug: SessionInfo..userName      = 'administrator'
(in main#1260)
2013-06-09 08:46:33.471 Debug: SessionInfo..startTime      = '2013-06-08 11:
37:23' (in main#1261)
2013-06-09 08:46:33.486 Debug: SessionInfo..clientCount   = 0 (in main#1262
)
2013-06-09 08:46:33.486 '20130609-084633-00',SYSTEM,-1,'END',' ',' ',0,-1,' ',' ','
'
C:¥GraphOn¥GGTerminalRoaming¥GSM>GMSERVICE -i
C:¥GraphOn¥GGTerminalRoaming¥GSM>GMSERVICE -s
C:¥GraphOn¥GGTerminalRoaming¥GSM>
```

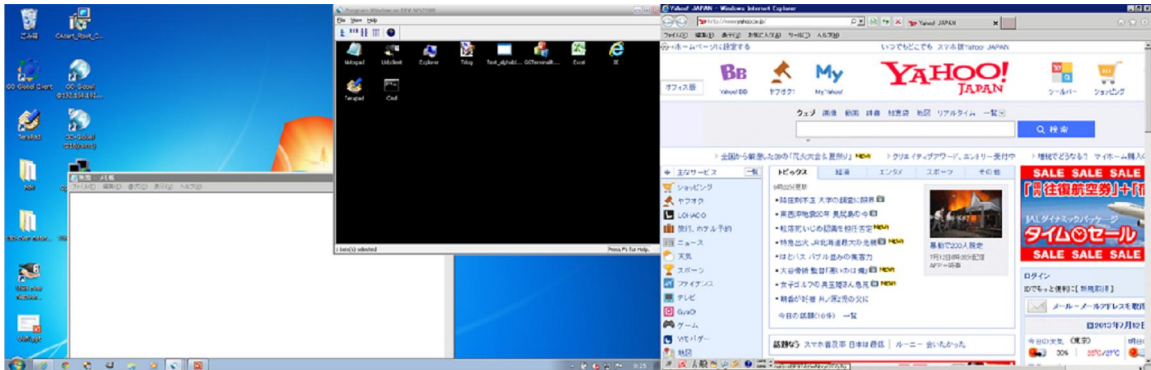
- 5) タスクマネージャで **GMService.exe** と **GGSessionMonitor.exe** が存在することを確認して下さい。この時点で、GG サーバを常時監視する環境が整いました。



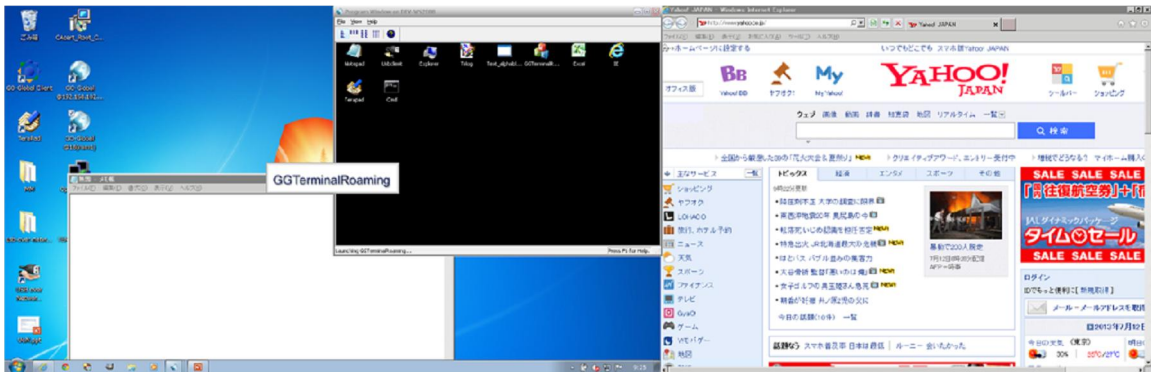
- 6) プログラム **C:\%GrapOn%\GGTerminalRoaming%\GGTerminalRoaming.exe** をタスクマネージャで登録して下さい。以上で、環境設定は完了しました。



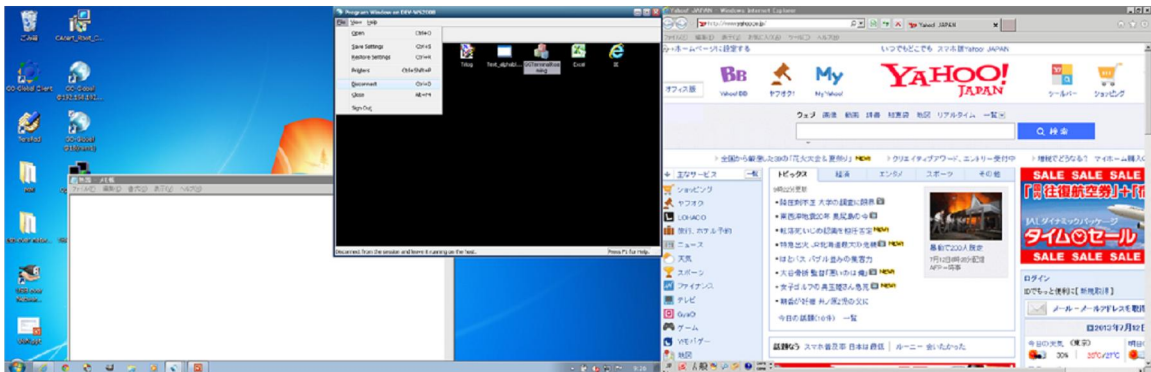
- 7) 最初のクライアント PC (移動前の端末) から GG サーバにログオンし、メモ帳等のアプリケーションを起動して下さい。



- 8) アプリケーション GGTerminalRoaming を起動して下さい。スプラッシュ画面が表示され、最小化状態で動作します (サンプル版の仕様です)。

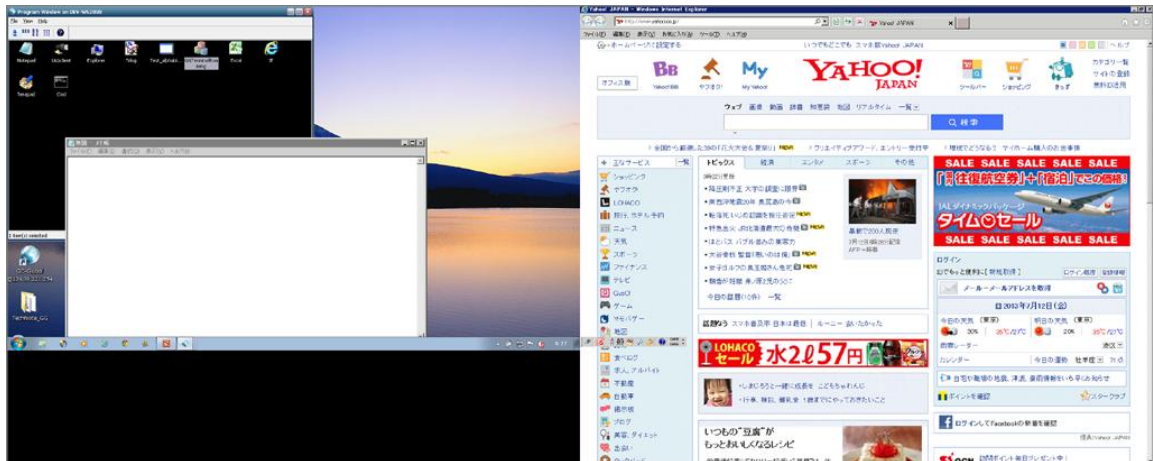


- 9) プログラム・ウィンドウを使用してセッションを Disconnect して下さい。または、クライアント PC 上で gg-client.exe のプロセスを強制終了しても構いません。

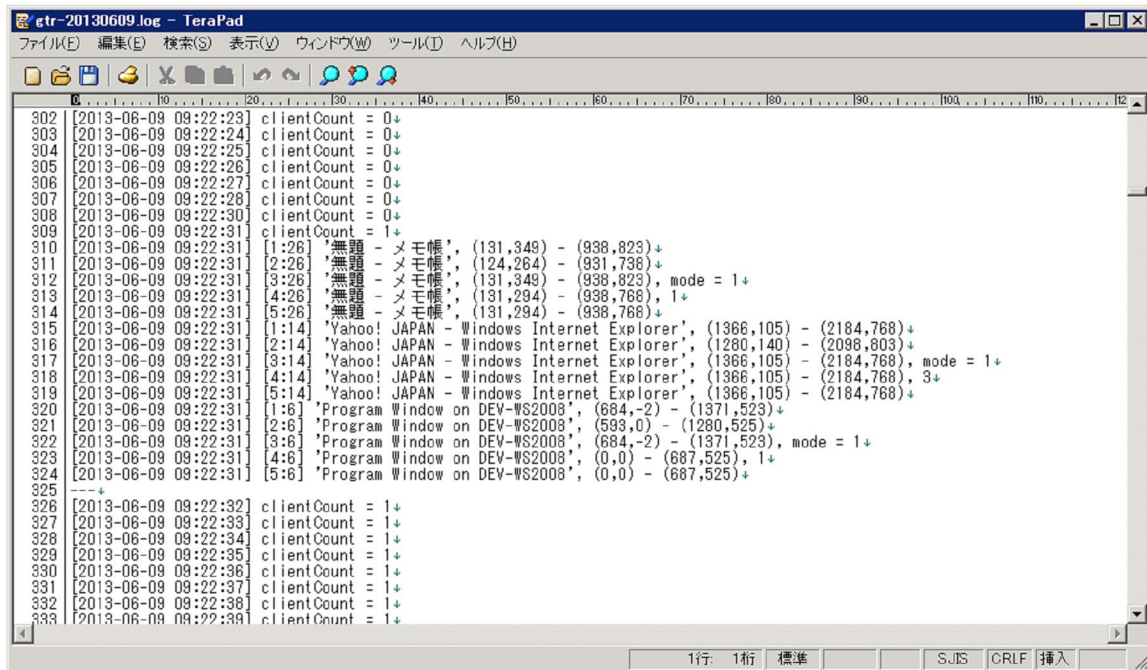
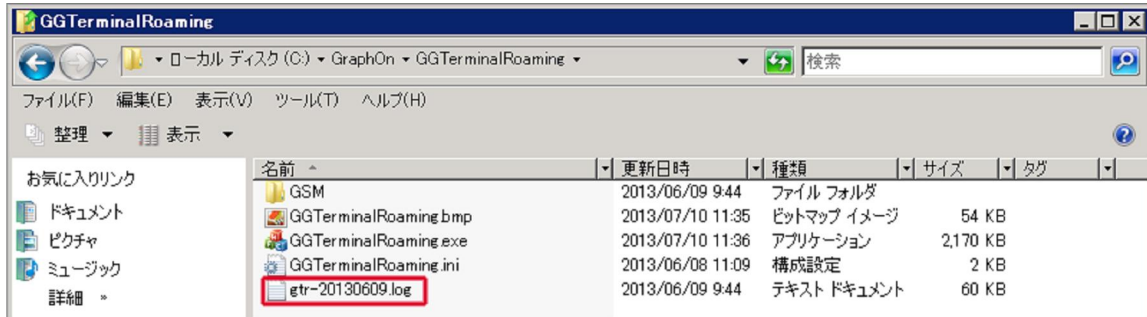




- 10) 2 台目のクライアント PC (移動後の端末) から GG サーバにログオンし, 前のステップで切断したセッションに再接続して下さい. 正常であれば, プログラム・ウィンドウがプライマリ・モニタの左上の位置に表示されます (サンプル版の仕様です). 他のアプリケーションのウィンドウは, 移動後のモニタの解像度に合わせて, 位置が調整されます. なお, アプリケーションの作りによっては移動しないことがありますが, この場合は, アプリケーションの動作 (ウィンドウ管理) に合わせて **GGTerminalRoaming** をカスタマイズする必要があります.



ウィンドウの再配置に関する情報は、サーバ側のフォルダ C:\¥GrapOn¥GGTerminalRoaming 中のファイル gtr-yyyyymmdd.log に記録されます。なお、サンプル版では障害発生時の状況が分かるように、やや多めに(頻繁に)情報を記録しております。



Last reviewed: Jul 12, 2013  
 Status: DRAFT  
 Ref: NONE  
 Copyright © 2013 kitASP Corporation